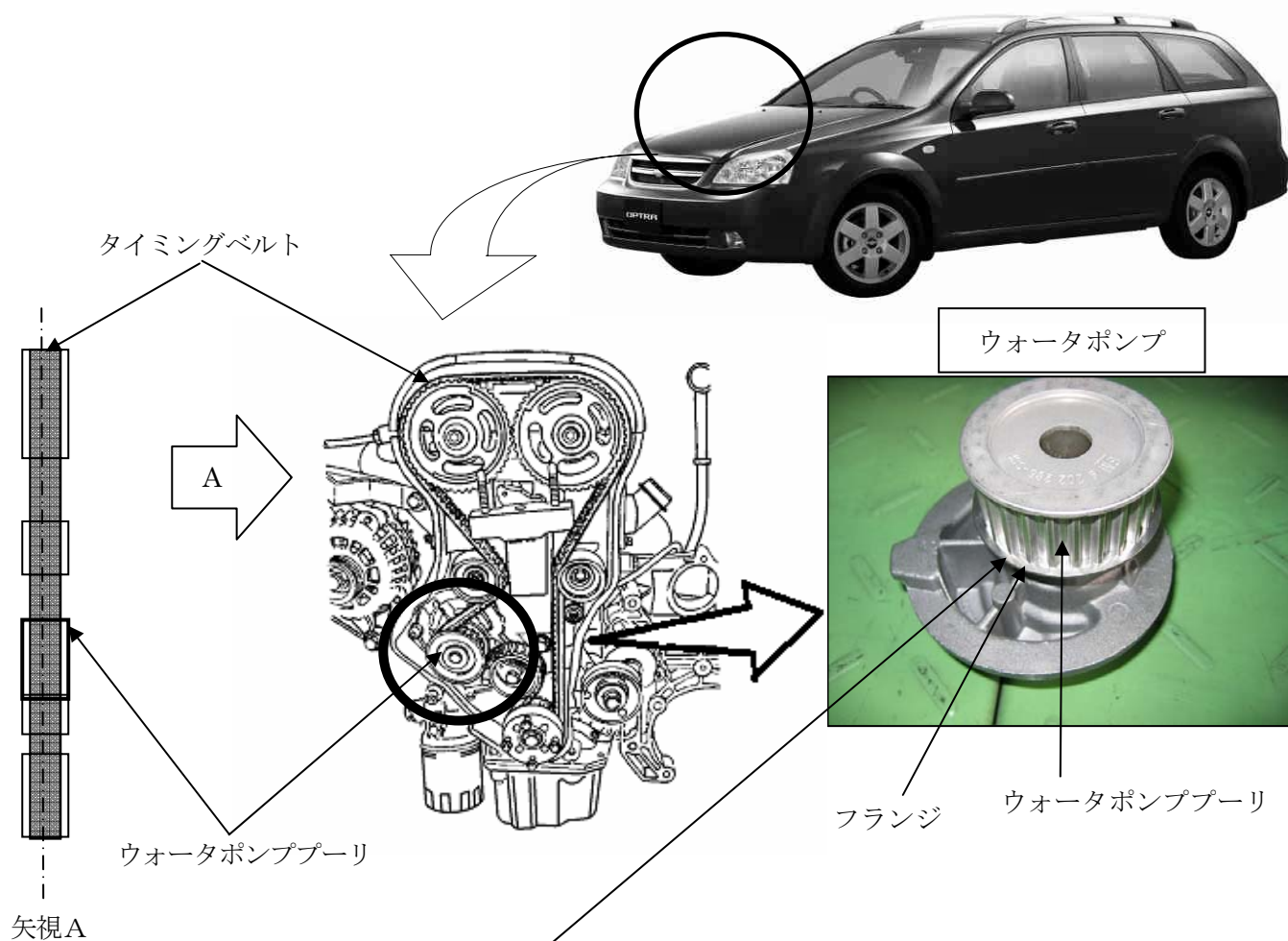


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

ウォーターポンププーリとフランジ部との溶接強度が不足しているため、タイミングベルトが偏心して取り付けられていると、タイミングベルトと当該フランジ部が強く干渉し、溶接が剥がれるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該フランジがプーリから外れ、最悪の場合、タイミングベルトがウォーターポンププーリより外れ、エンジンが停止するおそれがある。

改善の内容

全車両、ウォーターポンププーリフランジとタイミングベルトとの隙間を点検し、隙間の狭いものはウォーターポンプを対策品と交換する。また、タイミングベルトがフランジに接触している場合はベルトの幅を点検し、幅が基準値以下のものについてはタイミングベルトを新品に交換する。

注： は交換部品を示す。

識別： 白色丸シールを、エンジンルーム内の ID プレートに貼付する。